

児童養護施設等入所児童へのアンケート調査（暫定）

※里親・ファミリーホームの回答未了の暫定結果

目次

1. 調査概要.....	2
2. 調査結果.....	2
Q2 回答児童の入所施設種別	2
Q3 回答児童の学年	3
Q4 あなたの気持ちや意見を聞いてくれる人はいますか？	3
Q5 聞いてくれる人は誰ですか？当てはまる人を全て選択してください。（複数選択可）	4
Q6 日ごろ、どのくらい気持ちや意見を聞いてもらえると感じますか？	4
Q7 日ごろ、あなたの気持ちや意見を聞いてもらえると感じますか？	5
Q8 あなたの気持ちや意見を伝えた人は、あなたの気持ちや意見についてアドバイスをしてくれませんか？	5
Q9 里親・施設の職員（先生）に言いづらい意見や気持ちはありますか？（複数選択）	5
Q10 里親・施設の職員（先生）に聞いてもらって嬉しかった意見や気持ちはありますか？（複数選択）	6
Q11 児童養護施設や里親家庭などでの生活やあなたの権利について記載されている「こどもの権利ノート」を知っていますか？	6
Q12 「こどもの権利ノート」の内容について、こども家庭センターから説明されましたか？	7
Q13 「こどもの権利ノート」の内容は分かりやすいと思いますか？	7
Q14 普段「こどもの権利ノート」を見ることはありますか？	7
Q15 施設に自分の意見を書いて入れることができる「意見箱」が置かれていることを知っていますか？	8
Q16 「意見箱」を使ったことがありますか？	8
Q17 意見箱を使った結果、施設の対応は良かったですか？	8
Q19 施設の外から話や意見を聞きに来てくれる人がいれば、話をしたいと思いますか？	9
Q18 自由記述.....	9

1. 調査概要

○目的

児童養護施設や母子生活支援施設で暮らしている児童や里親に委託されている児童に対して、こども権利擁護の取組や意見聴取の仕組みの認知状況等について明らかにすることを目的として調査を実施。

○対象

神戸市内の児童養護施設（13 箇所）、児童心理治療施設（1 箇所）、児童自立支援施設（1 箇所）、母子生活支援施設（7 箇所）、里親・ファミリーホームで暮らしている小学校1年生以上の児童

○調査方法

調査票を郵送し、書面によるアンケートを実施。

○調査時期 2024（令和6）年6月14日～6月25日

○回答者数 412名

※今回の集計は里親、ファミリーホームの回答結果を反映していない暫定集計

2. 調査結果

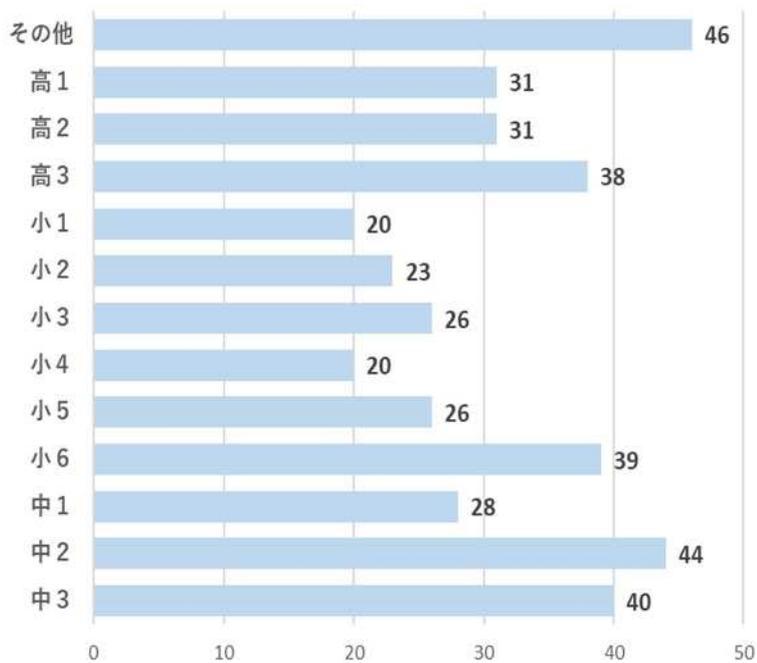
Q2 回答児童の入所施設種別

「施設種別」は児童養護施設が71.6%と最も多く、次点が母子生活支援施設で16.7%。

行ラベル	▼ 件数	比率
児童養護施設	295	71.6%
母子生活支援施設	69	16.7%
児童自立支援施設	21	5.1%
児童心理治療施設	18	4.4%
自立援助ホーム	9	2.2%
総計	412	100.0%

Q3 回答児童の学年

行ラベル	件数	比率 2
その他	46	11.2%
高1	31	7.5%
高2	31	7.5%
高3	38	9.2%
小1	20	4.9%
小2	23	5.6%
小3	26	6.3%
小4	20	4.9%
小5	26	6.3%
小6	39	9.5%
中1	28	6.8%
中2	44	10.7%
中3	40	9.7%
総計	412	100.0%

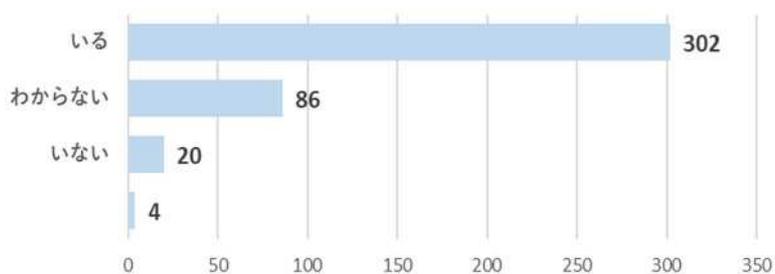


※「その他」は、大学生や空欄

Q4 あなたの気持ちや意見を聞いてくれる人はいますか？

気持ちや意見を聞いてくれる人が「いる」と答えたのは回答者全体の73.3%。

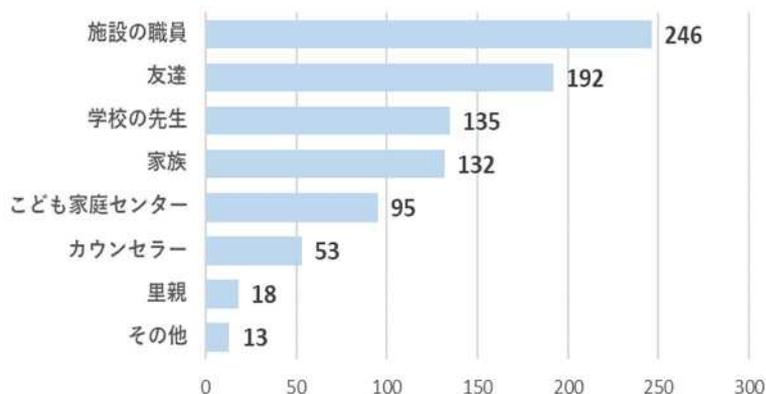
行ラベル	件数	比率
いる	302	73.3%
わからない	86	20.9%
いない	20	4.9%
空欄	4	1.0%
総計	412	100.0%



Q5 聞いてくれる人は誰ですか？当てはまる人を全て選択してください。（複数選択可）

意見を聞いてくれる人として最も多いのは、「施設の職員」で 246 件（回答者全体の約 60%）、次いで友達が 192 件（全体の 46%）、学校の先生が 135 件（約 32%）と続く。なお、どの項目も選択しなかった回答者は 82 名。

種別	件数
施設の職員	246
友達	192
学校の先生	135
家族	132
こども家庭センター	95
カウンセラー	53
里親	18
その他	13



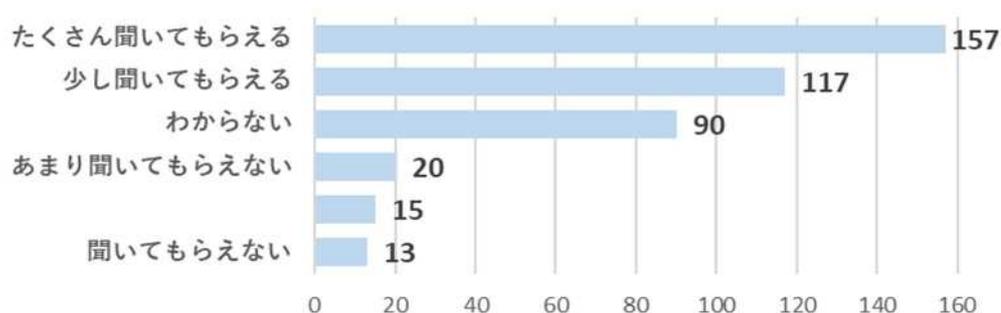
※「その他」の記載

心理士、デイサービスの職員、彼氏、保護司、精神科の先生、兄弟、社会人

Q6 日ごろ、どのくらい気持ちや意見を聞いてもらえると感じますか？

「たくさん聞いてもらえる」「少し聞いてもらえる」と回答した児童が 274 件（66.5%）おり、「あまり聞いてもらえない」「聞いてもらえない」と回答した児童は 33 件（8%）。

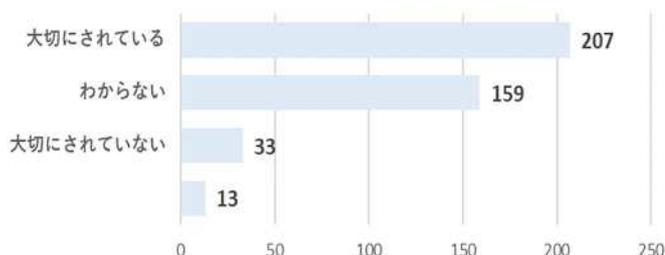
行ラベル	件数	比率
たくさん聞いてもらえる	157	38.1%
少し聞いてもらえる	117	28.4%
わからない	90	21.8%
あまり聞いてもらえない	20	4.9%
空欄	15	3.6%
聞いてもらえない	13	3.2%
総計	412	100.0%



Q7日ごろ、あなたの気持ちや意見を聞いてもらえると感じますか？

最も多かった回答は「大切にされている」で 207 件（50.2%）、「分からない」が 159 件（38.6%）、「大切にされていない」と回答した児童は 33 件（8.0%）いた。

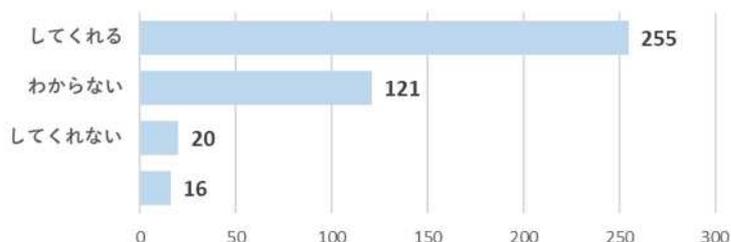
行ラベル	件数	比率
大切にされている	207	50.2%
わからない	159	38.6%
大切にされていない	33	8.0%
空欄	13	3.2%
総計	412	100.0%



Q8 あなたの気持ちや意見を伝えた人は、あなたの気持ちや意見についてアドバイスをしてくれますか？

最も多かったのは「アドバイスをしてくれる」で 255 件（61.9%）、次いで「分からない」が 121 件（29.4%）。

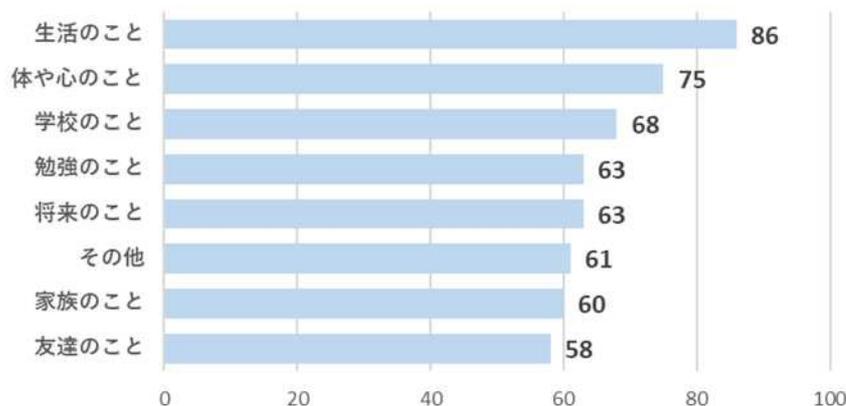
行ラベル	件数	比率
してくれる	255	61.9%
わからない	121	29.4%
してくれない	20	4.9%
空欄	16	3.9%
総計	412	100.0%



Q9 里親・施設の職員（先生）に言いづらい意見や気持ちはありますか？（複数選択）

最も多かったのは「生活のこと」で 86 件（20%）、次いで「体や心のこと」が 75 件（18%）となっている。

種別	件数
生活のこと	86
体や心のこと	75
学校のこと	68
将来のこと	63
勉強のこと	63
その他	61
家族のこと	60
友達のこと	58



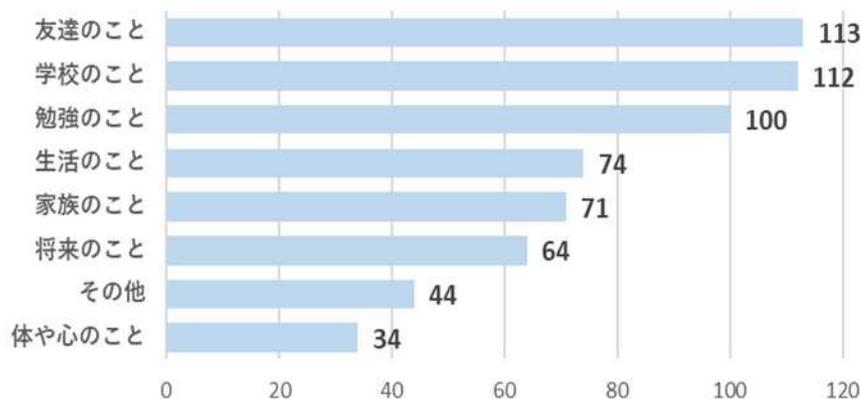
※「その他」の記載

彼氏のこと、服の系統のこと、職員のこと、恋愛のこと、施設のこと、施設の子供のこと、家に帰りたこと、死が怖いこと、バスケのこと、里親のこと、

Q10 里親・施設の職員（先生）に聞いてもらって嬉しかった意見や気持ちはありますか？（複数選択）

最も多かったのは「友達のこと」で113件（27%）、次いで「学校のこと」が112件（27%）、「勉強のこと」が100件（24%）となっている。

種別	件数
友達のこと	113
学校のこと	112
勉強のこと	100
生活のこと	74
家族のこと	71
将来のこと	64
その他	44
体や心のこと	34



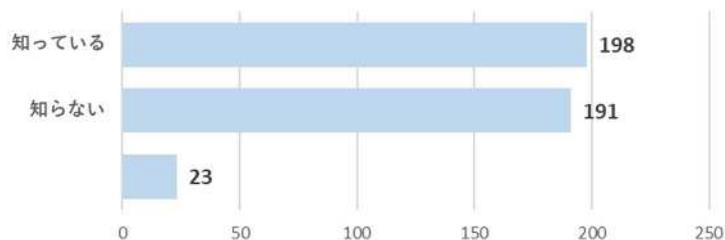
※「その他」の記載

自分のこと、趣味のこと、部活のこと、施設のルールのこと、テストのこと、何気ない話、施設のこと、バスケのこと、里親のこと、施設のこと、ご飯をたくさん食べたこと、何でも聞いてくれる、院長さんに大好きと言ったら院長さんも大好きと言ってくれたこと

Q11 児童養護施設や里親家庭などでの生活やあなたの権利について記載されている「こどもの権利ノート」を知っていますか？

「知っている」が198件（48.1%）いる一方、ほぼ同数が「知らない」と回答しており、児童には十分に認知されていない状況がうかがえる。

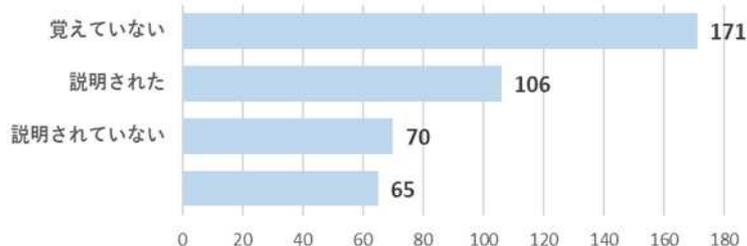
行ラベル	件数	比率
知っている	198	48.1%
知らない	191	46.4%
空欄	23	5.6%
総計	412	100.0%



Q12 「こどもの権利ノート」の内容について、こども家庭センターから説明されましたか？

「覚えていない」が最も多く 171 件（41.5%）であった。「説明された」は 106 件（25.7%）にとどまっており、多くの児童の認識は「覚えていない」「説明されていない」となっている。

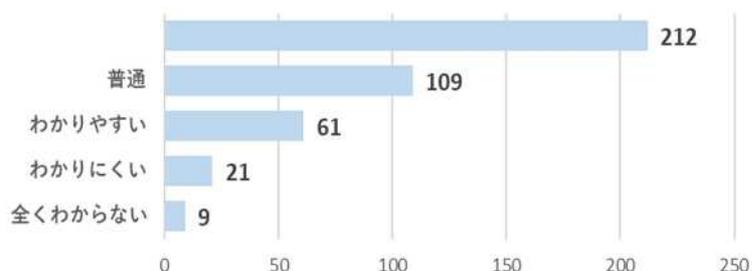
行ラベル	件数	比率
覚えていない	171	41.5%
説明された	106	25.7%
説明されていない	70	17.0%
空欄	65	15.8%
総計	412	100.0%



Q13 「こどもの権利ノート」の内容は分かりやすいと思いますか？

「空欄」が 212 件（51.5%）と最も多く、こどもの権利ノートの認知に課題がある。

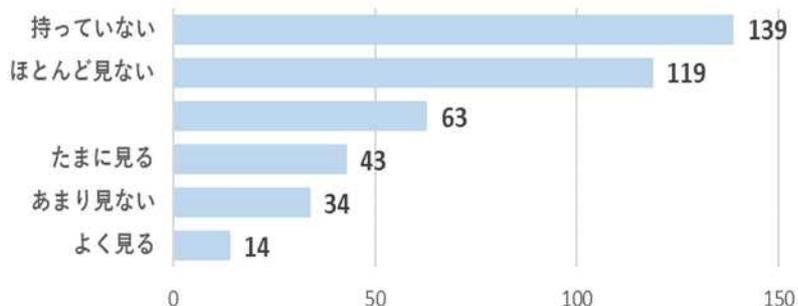
行ラベル	件数	比率
空欄	212	51.5%
普通	109	26.5%
わかりやすい	61	14.8%
わかりにくい	21	5.1%
全くわからない	9	2.2%
総計	412	100%



Q14 普段「こどもの権利ノート」を見ることはありますか？

「持っていない」が 139 件（33.7%）と最も多く、次いで「ほとんど見ない」が 119 件（28.9%）であった。権利ノートの認知向上と併せて、定期的な説明・配布などの対応が必要。

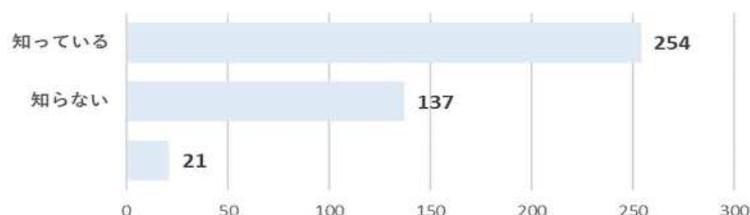
行ラベル	件数	比率
持っていない	139	33.7%
ほとんど見ない	119	28.9%
	63	15.3%
たまに見る	43	10.4%
あまり見ない	34	8.3%
よく見る	14	3.4%
総計	412	100%



Q15 施設に自分の意見を書いて入れることができる「意見箱」が置かれていることを知っていますか？

「知っている」が254件（61.7%）で最も多く、「知らない」が137件（33.3%）となっている。

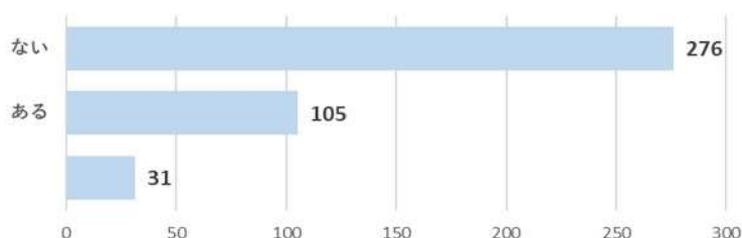
行ラベル	▼ 件数	比率
知っている	254	61.7%
知らない	137	33.3%
空欄	21	5.1%
総計	412	100.0%



Q16 「意見箱」を使ったことがありますか？

「意見箱を使用したことがない」が276件（67%）で最も多く、「使用したことがある」のは105件（25.5%）にとどまっている。

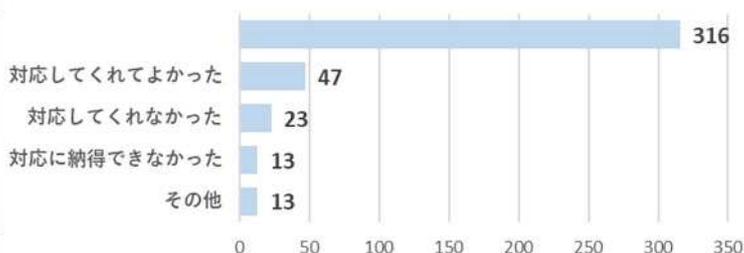
行ラベル	▼ 件数	比率
ない	276	67.0%
ある	105	25.5%
	31	7.5%
総計	412	100.0%



Q17 意見箱を使った結果、施設の対応は良かったですか？

「空欄」が316件（76.7%）で最も多い。意見箱を使ったことがある児童（105件）のうち、「対応してくれてよかった」が最も多く47件（44%）、次いで「対応してくれなかった」が23件（21.9%）となっている。

行ラベル	▼ 件数	比率
空欄	316	76.7%
対応してくれてよかった	47	11.4%
対応してくれなかった	23	5.6%
その他	13	3.2%
対応に納得できなかった	13	3.2%
総計	412	100.0%



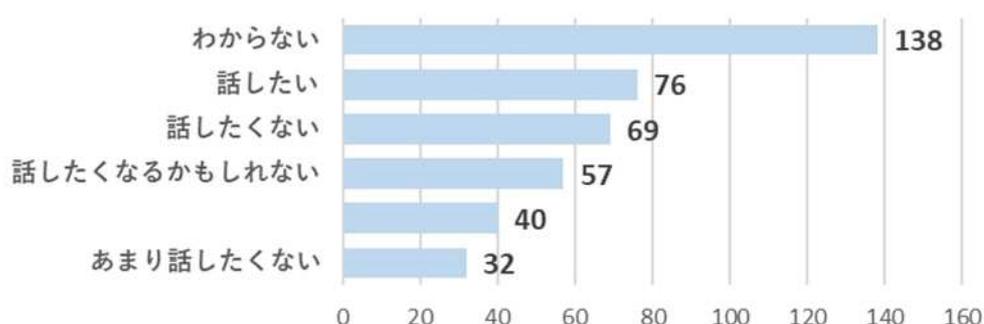
※「その他」の記載内容

「分からない」、「あまり分からなかった」、「覚えていない」、「対応してくれているのかわかりにくい」、「今考えていると思う」、「返事がまだ来ていない」、「それに似たことをしてくれた」、「対応に納得できなかったと対応してくれなかった、の中間くらい」

Q19 施設の外から話や意見を聞きに来てくれる人がいれば、話をしたいと思いますか？

最も多かったのは「分からない」で 138 件（33.5%）であった。次いで「話したい」が 76 件（18.4%）、「話したくない」が 69 件（16.7%）、「話したくなるかもしれない」が 57 件（13.8%）であった。

行ラベル	件数	比率
話したい	76	18.4%
話したくなるかもしれない	57	13.8%
わからない	138	33.5%
あまり話したくない	32	7.8%
話したくない	69	16.7%
	40	9.7%
総計	412	100.0%



Q18 自由記述

(1) 施設内のルールに関するもの

- ・ SNS を OK にしてほしい
- ・ インターネットを自由に見れるようにしてほしい
- ・ Wi-Fi を自由に使えるようにしてほしい。
- ・ お小遣いを増やしてほしい
- ・ スマホが貰える年が高校生なので辛い。最近みんながスマホを持っているから、せめて中学校がいいです。みんなに変な目で見られるから、とても不安を抱えています。
- ・ 施設だからって一般家庭とは別に縛りが多すぎる。今の時代スマホもってるのが当たり前なのにスマホもっていないからグループ LINE 入っていなかったらみんなに省かれているし、その LINE のおかげで仲良くなれるのにそれができひんとかが嫌。
- ・ 門限を伸ばしてほしい
- ・ 門限が決まっているから遅くまで遊びに行けないし、施設にいることを友達に言っていないから遊びに誘われた時に断るのがしんどい。

- ・施設でのルールがたくさんあるけど、そのルールが作られた理由などを分かりやすく説明してほしい。

(2) 施設職員や施設での暮らしに関するもの

- ・意見が通らない。
- ・寄り添ってくれない。
- ・何を頼んでも何も変わらない。
- ・小さい子がいるから、それにイライラする。
- ・他人との暮らしが嫌だ
- ・最後まで話を聞いてくれたら嬉しい。
- ・毎日楽しい

(3) 意見箱や意見を聞く仕組みについて

- ・意見箱に名前を書いていれたくない
- ・意見箱の中をしっかりと読んでほしい
- ・意見箱という希望だけ与えて実践する気がないなら、最初からそんな物を置かないで欲しい。
- ・意見を聞く仕組みについては、意見の聞き方を変えたらいいと思う。意見を聞く仕組みのことは知らなかったけど、自分だったら勇気を出しても書き辛いです。
- ・自分の性格の問題なのかは分からないけど、素直に言えないこと
- ・言いたくても何か言われそうと言えないから、高校生になってからしんどい

(4) 家に関するもの

- ・家に帰れるようになりたい
- ・面談などの回数をできれば増やしてほしい（家族との）
- ・親抜きで自分のおばさんと外出できるようにしてほしい。